

平成30年度音楽科 《第3学年》年間指導計画

音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

音楽科 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽を親しんでいく態度を育てる。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

■は、音楽への関心・意欲・態度、□は、音楽表現への創意工夫、■は、音楽表現の技能、■鑑は、鑑賞の能力

| 題材名(配当時間) | 指導目標 | 指導内容 | 共通事項 | | 評価規準 | 評価の具体 |
|---|--|--|------|---|---|----------------|
| | | | ■ | □ | | |
| 4 語感と曲想を生かして歌おう <3時間> 「花」「早春賦」 | <ul style="list-style-type: none"> ・語感と音楽を形づくっている要素との関わりを理解して表現を工夫できるようにする。 ・音楽の雰囲気に関心をもち、声の音色を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現を創意工夫して歌うことができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・語感を生かした表現を工夫させる。 ・詩や曲がつくれられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現させる。 ・音楽の雰囲気に関心をもち、声の音色を知覚させる。 ・特質や雰囲気を感受しながら、音楽表現を創意工夫して表現させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> リズム 旋律 強弱 音色 a tempo フェルマータ rit. 調 </div> | ■ | | 語感や曲の雰囲気に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察・ワークシート |
| | | | □ | | 語感や曲の雰囲気を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、どのように歌うかの思いや意図をもっている。 | ワークシート 定期考査 |
| | | | ■ | | ①詩や曲がつくれられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現できる。 ②語感や曲の雰囲気を感じ取り、表現する技能を身に付けている。 | 実技テスト 定期考査 |
| 5 文楽の魅力を鑑賞し日本の総合芸術を味わおう <2時間> 「野崎村の段」 | 文楽の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴くことができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文楽について理解させる。 ・音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、そのよさの根拠を言葉で説明させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 旋律 テクスチュア 音色 </div> | ■ | | 舞台芸術について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察・ワークシート |
| | | | ■ | | 音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ワークシート 批評文 |
| 6 能と雅楽の魅力を鑑賞し日本の総合芸術を味わおう <3時間> 「羽衣」「船弁慶」「越天楽」 | 能と雅楽の音楽の特徴について、様式を含めて理解し、それらの特質や魅力を味わって聴くことができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・能と雅楽について理解させる。 ・音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解しながら味わい、そのよさの根拠を言葉で説明させる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 旋律 テクスチュア 音色 </div> | ■ | | 舞台芸術について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察・ワークシート |
| | | | ■ | | 音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 | ワークシート 批評文 |
| 7 アルトリコーダーアンサンブルを楽しもう <3時間> 「美女と野獣」 | 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏することができるようになる。 | <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 音色 リズム 旋律 形式 テクスチュア Moderato 三連符 フレーズ レガート テヌート </div> | ■ | | アルトリコーダーのアンサンブルに関心をもち、表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察・ワークシート |
| | | | □ | | 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫している。 | ワークシート 定期考査 |
| | | | ■ | | アルトリコーダーでアンサンブルするために必要な基礎的な奏法を身に付けて演奏している。 | 実技テスト 定期考査 |
| 9 10 混声合唱を表現豊かに歌おう <7時間> 「名づけられた葉」他 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想の変化を生かし、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができるようになる。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができ | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想の変化を生かし、曲にふさわしい表現を工夫して歌わせる。 ・曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌わせる。 | ■ | | 声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察・ワークシート |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|----------------|--------|--------|--------|----------|---|-----------|--|--|-----------|--|---|----------------|
| | | <p>るようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 声部の役割を理解して全体の響きに気を付けながら合唱することができるようになる。 | <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 声部の役割を理解して全体の響きに気を付けながら合唱させる。 <table border="1"> <tr> <td>旋律</td><td>強弱</td></tr> <tr> <td>音色</td><td>形式</td></tr> <tr> <td>テクスチュア</td><td>構造</td></tr> <tr> <td colspan="2">速度</td></tr> <tr> <td colspan="2">ff</td></tr> <tr> <td colspan="2">r it.</td></tr> </table> | 旋律 | 強弱 | 音色 | 形式 | テクスチュア | 構造 | 速度 | | ff | | r it. | | <p>音楽を形づくっている要素を知覚し、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、歌唱表現について意図をもっている。</p> | ワークシート 定期考査 |
| 旋律 | 強弱 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 音色 | 形式 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テクスチュア | 構造 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 速度 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ff | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| r it. | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</p> | 実技テスト 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>①世界の諸民族の声や楽器の音色、楽曲の雰囲気、さまざまな踊りを伴った音楽を感じ取り、それぞれの特徴を知覚している。 ②世界の諸民族の声や楽器の音色、楽曲の雰囲気、さまざまな踊りを伴った音楽を感じ取ることにより、それぞれ音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> | ワークシート 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| 11 12 | ギターで弾き語りしよう <4時間> 「カントリーロード」「スタンダーバイミー」 | <p>声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏することができるようになる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> クラシックギターの基礎的な奏法を身に付けさせる。 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏させる。 <table border="1"> <tr> <td>リズム</td><td>旋律</td><td>テクスチュア</td></tr> <tr> <td>形式</td><td>音色</td><td>Moderato</td></tr> <tr> <td colspan="3">三連符</td></tr> </table> | リズム | 旋律 | テクスチュア | 形式 | 音色 | Moderato | 三連符 | | | <p>アルトリコーダーとクラシックギターでのアンサンブルに関心をもち、表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> | 観察・ワークシート | | | |
| リズム | 旋律 | テクスチュア | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | 音色 | Moderato | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三連符 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫している。</p> | ワークシート 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>アルトリコーダーとクラシックギターを演奏するためには必要な基礎的な奏法を身に付けて演奏している。</p> | 実技テスト 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| 12 1 | 世界に目を向け、ポピュラー音楽のよさを感じ取ろう <3時間> | <ul style="list-style-type: none"> ポピュラー音楽の様々なジャンルと文化・歴史との関連に関心をもつことができるようになる。 自分が好きな音楽をプレゼンテーションし、音楽の特徴、曲の背景など、様々な音楽に関心をもつことができるようになる。 音楽の多様性に興味をもって音楽鑑賞ができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> ポピュラー音楽について理解させる。 音楽の特徴や魅力について、音楽のよさの根拠を言葉で説明させる。 <table border="1"> <tr> <td>リズム</td><td>旋律</td><td>強弱</td><td>音色</td></tr> <tr> <td>形式</td><td>テクスチュア</td><td colspan="2">速度</td></tr> </table> | リズム | 旋律 | 強弱 | 音色 | 形式 | テクスチュア | 速度 | | <p>ポピュラー音楽について、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。</p> | 観察・ワークシート | | | | |
| リズム | 旋律 | 強弱 | 音色 | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | テクスチュア | 速度 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>ポピュラー音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> | ワークシート 批評文 | | | | | | | | | | | | |
| 1 2 | 詩に旋律をつけて作曲しよう <3時間> | 言葉のまとまり、抑揚に合わせて、工夫して旋律をつくることができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉のまとまり、抑揚を知覚し、反復、変化、繰く感じ、終わる感じなどの構成を工夫し、旋律をつくることができる。 <table border="1"> <tr> <td>旋律</td><td>形式</td><td>構造</td></tr> <tr> <td colspan="3">テクスチュア</td></tr> </table> | 旋律 | 形式 | 構造 | テクスチュア | | | <p>言葉の特徴を生かし、構成や全体のまとまりを工夫しながら旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> | 観察・ワークシート | | | | | | |
| 旋律 | 形式 | 構造 | | | | | | | | | | | | | | | |
| テクスチュア | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>反復、変化、対象などの構成や全体のまとまりを理解し、旋律づくりを工夫している。</p> | ワークシート 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>反復、変化、対象などの構成や全体のまとまりを生かして創作するために必要な技能を身に付けて、旋律をつくっている。</p> | 作品 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 感謝の気持ちを合唱で届けよう <8時間> 卒業式歌 「君が代」 | <ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようになる。 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようになる。 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようになる。 | <ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。 曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。 声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。 <table border="1"> <tr> <td>音色</td><td>速度</td><td>旋律</td></tr> <tr> <td>テクスチュア</td><td>強弱</td><td>構成</td></tr> </table> | 音色 | 速度 | 旋律 | テクスチュア | 強弱 | 構成 | <p>①歌詞の内容や曲想②発声や言葉の特性③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。</p> | 観察・ワークシート | | | | | | |
| 音色 | 速度 | 旋律 | | | | | | | | | | | | | | | |
| テクスチュア | 強弱 | 構成 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>①歌詞の内容や曲想②発声や言葉の特性③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。</p> | ワークシート 定期考査 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。</p> | 実技テスト 定期考査 | | | | | | | | | | | | |